

各 位

会 社 名：ウインテスト株式会社  
(コード：6721 東証スタンダード)  
代表者名：代表取締役 姜 輝  
問合せ先：経営企画室長 鎌田 文明  
(T E L : 045-317-7888)

## マイクロCT、X線照射3D断層撮影検査装置 「WTS-CT130」のリリースと販売開始のお知らせ

この度、ウインテスト株式会社（横浜市西区）は、イメージセンサーテストシステム開発で培った画像処理技術及び検査技術を生かし、コンパクトなマイクロCT、X線照射3D断層撮影検査装置「WTS-CT130」を外部協力企業と共同で開発し、2024年12月より正式にリリースと販売開始することを決定しました。

WTS-CT130は、密閉された検査ボックス内にX線発生装置を装備し検査対象物を360度回転させX線による断層撮影によって対象物の非破壊検査を実現します。

### 1. 「X線照射3D断層撮影検査」について

X線照射3D断層撮影装置は、X線を使用し、対象物の断面画像や立体像を得る装置です。多方向からX線を照射し、撮影した画像をコンピュータで解析することで、立体的（3D）なX線像を生成します。X線の特長として、複雑な部位も高精度でスキャンでき、光沢のある素材や透明な素材でも3Dデータが取得可能です。そのため、透明樹脂で作られた製品や光沢のある金属製品の計測・データ解析にも利用されています。

### 2. WTS-CT130の特徴

大型高価格となりがちなX線照射断層撮影装置ですが、WTS-CT130は、コンパクトで高速・高解像度（ $10 \mu\text{m}$ ）を実現したマイクロCT装置となります。また被対象物を360度回転させることでより正確な3D断層撮影を実現、直感的なユーザーインターフェース（ユーザーが使う操作画面）や、130kV高X線エネルギー対応で、 $49.8 \mu\text{m}$ 高精度CMOS平板探測器を用い画質の向上を図っています。完全鉛遮蔽版密閉方式を取っており、漏洩X線量は $1 \mu\text{シーベルト}$ 以下であるため、オペレータは防護服を必要としません。

### 3. 業績に与える影響について

今期通期業績への影響は、特にございませんが、来期以降の業績への影響について、現在精査中です。明確になり次第お知らせいたします。

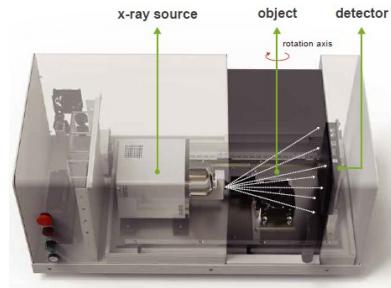
※本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報であり、諸般の事情により予告なく変更されることがあります。

以上

## WTS-CT130のご紹介

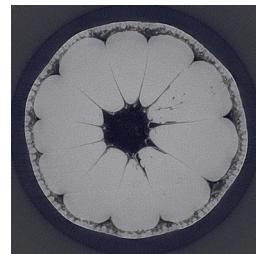


X線3D断層装置概観



内部図

撮影画像の一例



### マイクロCT、X線照射3D断層撮影検査装置

#### 主要諸元：

解像度	マイクロフォーカス、最小フォーカス $5\mu\text{m}$ 、CT最小Voxel： $10\mu\text{m}$ (Voxelとは、CT画像を構成する最小の単位最小構成要素)
低維持費	密閉管方式の為メンテナンスフリーを実現
高性能	130kV高X線エネルギー対応、 $49.8\mu\text{m}$ 高精度CMOSセンサーを使用
撮影角度/範囲	$360^\circ$ / $70\text{mm} \times 70\text{mm} \times 75\text{mm}$
サイズ	$1020\text{mm(D)} \times 540\text{mm(H)} \times 582\text{mm(W)}$ 重量305kg
X線自己遮蔽型	X線自己遮蔽方式 漏洩放射線量 $1\mu\text{Sv/h}$ 未満 (100ミリシーベルト以下)の放射線を受けた場合、人体への影響は確認されていません。ミリは、マイクロの1,000倍になります)
測定可能 対象物例	半導体部品/電池/植物/アルミ製品/ゴム系/プラスチック部品/建設材料など

以上